

# ジェンダー法学会 第17回学術大会2019

2019年  
12月7日(土)  
～12月8日(日)  
於:大阪大学  
豊中キャンパス  
大阪大学会館

- 〒560-0043  
大阪府豊中市待兼山町1-13
- 電車【阪急宝塚線】  
石橋阪大前駅下車 徒歩15分
- モノレール【大阪モノレール】  
柴原阪大前駅下車 徒歩15分



- ジェンダー法学会会員  
参加費無料
- 会員以外  
大会2日間通して参加費(傍聴料)  
1,000円  
(学部学生以下500円、  
ただし、開催校である大阪大学の教職  
員・院生・学部生は傍聴無料)
- プログラムの詳細は、  
ジェンダー法学会ホームページ  
<<http://jagl.jp/>>  
をご覧ください。
- 問い合わせ先 大阪大学大学院法  
学研究科 島岡まな  
mana@law.osaka-u.ac.jp  
(●を@に変えてください)

12/7 土

◆ 9:30-11:30 ワークショップ  
◆ 13:00-13:05 開催校あいさつ

13:05-13:55

女性差別撤廃条約採択40周年記念講演

女性差別撤廃条約採択40周年～軌跡と展望  
林陽子(元女性差別撤廃委員会委員長、弁護士)



14:00-18:00 シンポジウム I

今後のジェンダー平等社会を展望する

～男女共同参画社会基本法施行20年を振り返りつつ

◆ 趣旨説明・司会:岡野八代(同志社大学)  
清末愛砂(室蘭工業大学)

◆ 報告① 三浦まり(上智大学)  
政治分野における男女共同参画をどう  
進めるか

◆ 報告② 笹沼弘志(静岡大学)  
ジェンダー規範に対峙する日本国憲法

◆ 報告③ 佐藤倫子(香川県弁護士会)  
司法分野における男女共同参画  
～20年の変化と課題



12/8 日

◆ 9:00-11:00 個別報告

13:00-17:00 シンポジウム II

性被害と司法のジェンダーバイアス

～刑事判決の分析から

◆ 趣旨説明・司会:竹下博将(第二東京弁護士会)  
吉田容子(京都弁護士会)

◆ 報告① 角田由紀子(第二東京弁護士会)  
性被害と司法のジェンダーバイアス  
～刑事判決の分析から

◆ 報告② 小宮友根(東北学院大学)  
バイアスはなぜ『バイアス』と理解されにくい  
のか ～『バイアスのアウトソース』問題

◆ 報告③ 小西聖子(精神科医・武蔵野大学)  
性犯罪被害者の心理学的鑑定  
～「抗拒不能」の心理学的説明

◆ コメント① 山本潤(一般社団法人Spring理事)  
レイプ神話と司法の公正

◆ コメント② 斎藤豊治(大阪弁護士会・甲南大学名誉教授)  
判例と性刑法改正～段階的類型化の必要性



- 主催:ジェンダー法学会
- 共催:大阪大学大学院法学研究科・大阪大学大学院高等司法研究科
- 後援:大阪大学男女協働推進センター・大阪弁護士会